

## はじめに

時が経つのは早いもので渡米してから約4ヶ月が経過しました。語学学校での約2ヶ月間の英語学習と夏期休暇を終え、現在私は派遣留学生としてUIUC(University of Illinois at Urbana Champaign)で勉学に励んでいます。

本留学に際し、私は以下のような目標を立てました。現在は達成できていないことばかりですが、少しでも多くのことを実現できるように努力しています。

- 現地での生活を通して、アメリカの文化と情報技術の関係について自分なりの答えを見つける。
- 現地の学生、および住人と親密な関係を築き上げる。
- 将来のビジョンを明確にする。
- 英語能力、コミュニケーション能力を向上させる。

これから派遣留学を終える2011年5月下旬までの8ヶ月間、現地での学びと経験を月単位で報告書にまとめていきます。本報告書では、UIUCでの講義内容、およびアメリカでの私生活について報告致します。



Activities and Recreation Center (ARC)



Thomas M. Siebel Center for Computer Science

## UIUCでの講義内容

8月23日～12月17日における秋学期は、以下の4科目を履修しました。

- ESL114: Intro to Academic Writing 3単位
- CS125: Intro to Computer Science 4単位
- CS225: Data Structures 4単位
- CS231: Computer Architecture I 3単位

今期での履修科目における目標は英語能力の向上を主としています。そのため、専門科目は内容的には大半を理解している学部1年生、2年生レベルの講義を履修しました。日本語ではなく、英語を用いた学習能力を向上させ、来学期にCS412(Introduction to Data Mining), CS465 (User Interface Design) といった専門性のより高い講義を履修するのが狙いです。

また、全米でもトップレベルの実力を誇るUIUCのComputer Science(以下CSと表記)の基礎科目を履修することによって、アメリカの情報分野における技術者の出発点、および土壌に触れておきたいという想いもあります。以下に授業スケジュールと各科目についての詳細を記します。

## 授業スケジュール

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
9am-10am		CS125 (Lab & Discussion)			
10am-11am	CS231		CS231		CS231
11am-12pm					
12pm- 1pm	CS225		CS225		CS225
1pm- 2pm					CS225 (Lab)
2pm- 3pm					
3pm- 4pm	CS125		CS125		CS125
4pm- 5pm		ESL114		ESL114	
5pm- 6pm					

**1. ESL114: Intro to Academic Writing**

この科目は学術的なライティング技術を学ぶ講義です。夏期休暇中に受験した Placement Test の結果、必須科目として指定されました。私以外にも UIUC への編入生や留学生が履修しています。他の講義と比べると、全員がアジア人で一風変わった雰囲気を持っています。授業の中では最低 2 週間に一度の面談があり、作成したエッセイに関するフィードバックを頂けません。私はライティングが苦手である上に、CS の講義では英文を書く事自体少ないので、大切にしなければいけない講義だと思っています。

**2. CS125: Intro to Computer Science**

UIUC の CS 学科にはコンピュータについて学ぶための入門科目が 5 つ用意されています。科目ごとに使用するプログラミング言語や単位取得のために要件は異なり、学生が目的に合わせて講義を選択できるようになっているのが特徴的だといえます。このような体制を採っている理由としては、CS 以外の Major を専攻する学生にも、研究やビジネスに利用するためにコンピュータに関する基本技術と仕組みを理解していることが必要とされていることが挙げられます。そのため、多くの学生が CS の入門科目を履修しています。

私は複数の授業に初回のみ出席した末、5 つの中で最もレベルの高い講義とされる CS125 を履修することに決めました。この講義ではプログラミング言語の Java を用いて CS に関するコンセプトを学びます。Java についての知識はある程度持ち合わせているためフォロー出来てはいるものの、授業の進度は非常に早く、本当にプログラミング初心者を対象にした講義なのかと思えるほど充実した内容になっています。プログラミングのソースコードを管理するために、全ての履修学生が Subversion を用いていることや、提出したプログラムの自動採点等、講義のスタイルも先進的だと感じています。

**3. CS225: Data Structures**

プログラミング言語の C++ を用いて、データ構造についての概念とプログラミングのテクニックを学ぶ講義です。講義内容、課題共にかなり難易度は高いが、履修して非常にためになったという話を UIUC の卒業生から受講前に聞き、チャレンジしてみるという意味も込めて履修しました。正直、現在は講義の進度についていけない部分もありますが、少しでも多くのことを吸収しようと努力しています。講義形式はレクチャーが週に 3 時間、ラボが週に 2 時間となっています。

#### 4. CS231: Computer Architecture I

この科目は論理回路の設計から汎用計算機におけるハードウェア・コンポーネントの設計について学ぶ講義です。内容的には比較的容易な概念ばかりなのですが、授業毎の課題が非常に多いので仕上げるのが大変です。

#### アメリカでの私生活

6月初旬に渡米して語学学校に2ヶ月間通った甲斐もあり、日常生活に関しては必要最低限のラインで難なくこなせるようになりました。渡米直後には食事の注文にさえ躊躇していたので、その事を考えれば多少なりとも進歩したといえます。

交友関係については、語学学校時にできた友人を中心に余暇を過ごすことが多々あります。彼らとは一緒に勉強したり、食事や買い物に出かけたりしています。講義中心の日程だと必然的に英語で言葉を交わす機会が少なくなってしまうので、この時間は貴重な時間になっています。また、夏期休暇中には、語学学校のクラスメイト4人でレンタカーを借りてナイアガラ・フォールへ旅行をしました。移動には片道12時間を要したのですが、車内では互いの将来について語り合うような場面もあり、非常に良い時間を過ごせました。この旅は休暇を満喫できただけでなく、非常に良い経験になったと思っています。

また、現在は10月末にボストンであるキャリア・フォーラムに向けての準備を進めています。このフォーラムでは、企業の採用担当の方々とは直接お会いして話をすることが出来るので、帰国後に就職活動を行う上では大変貴重な機会だといえます。十分に準備をした上で本番に望みたいと思います。



Niagara Falls

#### 今月の反省点

8月23日からUIUCの秋学期が始まり、語学学校に通っていた頃と比べると生活が一段と厳しくなりました。講義を受講するに当たっては言葉の意味を直接理解することが困難な状況で、ラボやディスカッションのあるクラスでは、他の学生とのコミュニケーションに苦労している日々が続いています。正直、英語中心の生活から逃避したいという考えすら浮かんでしまうことさえあります。しかし、理想と現実のギャップに悩んでいても時間を浪費するだけなので、今が正念場だと思い現状を打破できるように頑張っています。講義を受けるに当たってやるべきことを一つ一つこなして

いこうと思います。

また、今月は語学学校に通っていた頃と比べ、日本人と接する時間が増えてしまった点は英語を学ぶ上ではマイナスに働いてしまっています。留学中にしかできないことに時間を使えるようにスケジュール管理をしていくことが現在の課題です。

#### 来月の目標

- ネイティブとの交友関係を広げる。(特にCS 繋がりの方を増やす)
- ボストン・キャリア・フォーラムで結果を出す。
- 季節の変わり目なので体調管理に十分気を配る。

以上で9月分の報告とさせていただきます。